



特集1

地域をつなぐ自治会紙



皆さんは町内会の行事など、地域の情報をどのような方法で手に入れていますか？

市内には「町内会だより」や「回覧板」などの広報紙（自治会紙）を発行している町内会や住民自治協議会があります。

市が発行する「広報つやま」より、地域に密着した情報が詰まった自治会紙は、いったい、どのようにして作られているのでしょうか。

*住民自治協議会とは、高齢化や少子化が進み、近い将来、集落・町内会機能の維持や日常生活に支障が出る予測される地域を対象に、住民による集落機能の再編や地域の課題解決、活性化などを行うための組織です。

自治会と自治会紙の役割

- 町内会などの自治会には、大きく次のような役割があります。
- ふれあいや楽しさを感じてもらう親睦・イベント活動
- 住環境を良くし、気持ちの良い地域をつくる環境美化活動
- お互いを思いやる心を育てる福祉活動
- 事件、事故の発生を未然に防ぐ防犯活動
- 災害に備えたり、災害発生時には助け合ったりする防災活動
- 生活環境をより良くするための活動
- 地域の歴史、伝統を次の世代へ伝える活動 など

地域コミュニティにも一役

自治会紙には、その地域ならではの情報がたくさん詰まっています。例えば、秋祭りや運動会などのイベントや、自然災害が発生した時の避難場所、地域の歴史や伝承を伝える記事などです。

こうした地域の情報を住民が共有することができると自治会紙は、活発な地域コミュニティを形成していくための一つのきっかけに

なっています。

住民が作り、住民が伝える

自治会紙は地域の事情や様子をよく知る、地域に住む人々たちによって作られています。

自治会紙を作る人たちは「地域のことをどのように伝えたらよいか。興味がわく記事は何か。今、伝えなければならぬことは何か」など、住民と同じ目線で地域の情報を伝えようとしています。

地域のまちづくりに取り組む組織の一つ、住民自治協議会の広報・情報発信部会では、意見交換会などを行っています。



▲各自の自治会紙を持ち寄っての意見交換会